

編集後記

『研究報告』53号をお届けします。本誌面も充実したものとなりました。研究報告として、「歴史総合」を導入した学校現場での成果と問題点を踏まえた授業モデル案を2本、また、恒例となった世界史の高校・大学連携事業や日本史サマーセミナー報告、世界史と日本史の講演録2本、史跡踏査や研究大会参加記、神奈川県立歴史博物館との連携報告、さらには本号には、この分科会の活動を普段より物心両面から支えていただいているNPO法人神奈川歴史教育研究会からの寄稿と多彩な内容となっています。どうぞ御高覧ください。

2024年度は、「歴史総合」「日本史探究」「世界史探究」が導入されて生徒たちが初めて大学入試に臨んだ年度でした。入試問題やその結果については、出題する入試センターや大学側もまだまだ試行錯誤が続くと思われますし、今後様々な媒体で分析や議論が出て来でしょう。ただ、「生徒自らが問いを立てて歴史資料を読み解き課題解決をする、という「主体的で深い学び」を目標に掲げた新歴史科目は、本当に大学入試と共存できるのか」、日々生徒と向きあっている神奈川の教員も避けては通れない課題だと思います。分科会などの研究会に参加して教員全体で問題を共有・克服していく途を探っていければと思います。世界史・日本史各研究推進委員会へのご参加、お待ちしております。

(K)

ホームページも随時更新して、内容を充実させています。ご覧ください。

神奈川県高校社会科部会歴史分科会ホームページ

<http://kanagawarekishibunkakai.cho88.com/>

出版・情報委員長 大久保 敏朗、副委員長 風間 洋

社会科部会歴史分科会『研究報告』《第53号》

発行日 2025（令和7）年5月10日

発行 神奈川県高等学校教科研究会

社会科部会 歴史分科会

出版・情報委員会

発行責任者 中山 拓憲（歴史分科会長）

印刷 スピード印刷工房

〒815-0031 福岡市南区清水 2-15-30

代表電話 092-555-7450